

令和7年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

スポーツ推進課

1 施設の概要等

施設名	広島県総合グラウンド		
所在地	広島市西区観音新町二丁目 11 番 124 号		
設置目的	スポーツの普及発展と県民の体位の向上を図る		
施設・設備	メインスタジアム、補助競技場、野球場、ラグビー場、運動場等		
指定管理者	5期目	R3. 4. 1～R8. 3. 31	ひろしま未来創造パートナーズ (ミズノ・ミズノスポーツサービス・広島県教育事業団・ユニサス・持続未来共同企業体)
	4期目	H28. 4. 1～R3. 3. 31	セイカスポーツセンター・鹿島建物・西尾園芸共同企業体
	3期目	H23. 4. 1～H28. 3. 31	ミズノ・広島県教育事業団グループ共同企業体
	2期目	H20. 4. 1～H23. 3. 31	広島県教育事業団
	1期目	H17. 4. 1～H20. 3. 31	ポラーノグループ特定共同企業体

2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	稼働率 (メインスタジアム)	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	5期	R7		96.6%	100.0%	0.0 ポイント
R6			96.6%	100.0%	4.2 ポイント	3.4 ポイント (103.5%)
利用状況	年度		目標値 [事業計画]	利用者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	5期	R5	400,000 人	250,181 人	19,618 人	△149,819 人 (62.5%)
		R4	400,000 人	230,563 人	55,268 人	△169,437 人 (57.6%)
		R3	370,000 人	175,295 人	△157,857 人	△194,705 人 (47.4%)
	4期平均 H28～R2		397,400 人	333,152 人	△ 44,203 人	△ 64,248 人 (83.8%)
	3期平均 H23～H27		315,000 人	377,355 人	75,525 人	62,355 人 (119.8%)
	2期平均 H20～H22		291,000 人	301,830 人	31,412 人	10,830 人 (103.7%)
	1期平均 H17～H19		292,000 人	270,418 人	26,922 人	△ 21,582 人 (92.6%)
H16 (導入前)		—	243,496 人	—	—	
増減理由	メインスタジアムでは、陸上競技大会やラグビーリーグワンの試合等を開催するとともに、自主事業のスポーツ教室や地域密着型イベントを展開するなど、利用促進を図った。					

※令和6年度に目標値を利用者数から稼働率に見直した。

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	利用者意見箱「皆様の声」設置	施設利用者：4件
	利用者アンケートの実施（年2回）	施設利用者：238件
	自主事業アンケート実施（31教室）	スポーツ教室及びイベント参加者：218件
	【主な意見】	【その対応状況】
自主事業について、参加者がスポーツを楽しんでいる旨の意見が多く見受けられた。一方で、施設的环境整備に関する意見も寄せられた。		引き続きサービスの向上に努めるとともに、利用者の意見を踏まえ、施設の巡回の強化及び清掃の徹底を図り、必要な改善を行う。

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 月次業務報告書
	日報（必要随時）	○ 修繕作業報告書、事故報告、苦情報告等
管理運営会議 （12回・広島県庁）	【特記事項等】 施設利用状況、自主事業実施状況、施設・設備の管理状況等の報告と意見交換・協議を行った。	
現地調査（4月、7月、8月、1月に実施）		

	<p>【指定管理者の意見】 施設・設備の状況を把握し、修繕計画を提案。</p> <p>【県の対応】 労働条件調査（４月）・メインスタジアム現地調査（７月）・指定管理者選定委員会委員現地視察（８月）・メインスタジアム第２種陸上競技場公認検定（１月）</p>
--	---

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
県委託料 (決算額)	5期	R7	104,279	6,319	料金 収入 (決算額)	5期	R7	23,226	4,501
		R6	97,960	638			R6	18,725	△873
		R5	97,322	1,603			R5	19,598	961
		R4	95,719	△588			R4	18,637	3,897
		R3	96,307	8,413			R3	14,740	△2,346
	4期平均 H28～R2		87,894	7,810		4期平均 H28～R2		17,086	△127
	3期平均 H23～H27		80,084	2,857		3期平均 H23～H27		17,213	1,810
	2期平均 H20～H22		77,227	△19,397		2期平均 H20～H22		15,403	△1,323
	1期平均 H17～H19		96,624	△62,146		1期平均 H17～H19		16,726	△529
	H16 (導入前)		158,770	—		H16 (導入前)		17,255	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項 目		R7 決算額	R6 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収 入	県委託料	104,279	97,960	6,319	物価等高騰に伴う県委託料の増
		料金収入	23,226	18,725	4,501	利用料金制（※1） 料金改定による増
		その他収入	5,793	3,365	2,428	メインスタジアム改修工事に伴う営業補償の増
		計(A)	133,298	120,050	13,248	
	支 出	人件費	42,080	40,123	1,957	人件費単価の増
		光熱水費	16,898	17,419	△521	
		設備等保守点検費	12,780	13,298	△518	
		清掃・警備費等	33,501	33,564	△63	
		施設維持修繕費	3,201	1,812	1,389	修繕費の増
		事務局費	5,466	4,589	877	
その他		12,008	10,150	1,858	公課費の増	
計(B)	125,934	120,955	4,979			
収支①(A-B)		7,364	△905	8,269		
自主事業 (※2)	収 入(C)	5,681	5,087	594		
	支 出(D)	4,553	4,414	139		
	収支②(C-D)	1,128	673	455		
合計収支(①+②)		8,492	△232	8,724		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の 効用 発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	広島県総合グランド設置及び管理条例・管理運営規則・仕様書を遵守し、適切に業務を実施した。	施設の設置目的に沿った管理運営及び利用促進が行われている。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	町内会と連携して「ひろスタサマーフェスタ」を開催し、地元住民に向けたサービスの充実を図った。 また、ラグビーリーグワン公式戦をメインスタジアムに誘致・実施し、多くの観客に迫力あるスポーツ観戦の機会を提供するとともに、施設の魅力向上と来場促進につなげた。 さらに、自主事業として陸上・サッカー・野球等のスポーツ教室やフィットネス教室をニーズに応じてきめ細かく実施し、幅広い層がスポーツに親しむ機会を拡充した。	地域と連携したイベントを実施するほか、構成企業の特性を生かしたスポーツ教室の実施など、県民がスポーツに親しむ機会の増加に努めている。
	○業務の実施による、施設の利用促進	行事予定や自主事業で開催するスポーツ教室について、地域情報誌等を活用して幅広く利用者促進に努めた。また、ホームページやSNSを活用した情報発信も実施し、利用率の向上に努めた。	積極的に情報発信を行い、利用促進に向けた取組を実施している。
	○施設の維持管理	メインスタジアムの更衣室や医務室等の照明をLED化した。また、毎日巡回点検を行うことで不具合を早期発見し、迅速な自主修繕に努めた。	積極的な自主修繕や施設の管理・整備を行い、利用環境の改善や安全管理に努めている。
管理の 人的 物的 基礎	○組織体制の見直し	効率的な施設管理を実施するため、新たにスポーツ施設管理士の資格を1名取得させた。	効率的な施設管理を実施するため、適切に組織体制の見直しがなされている。
	○効率的な業務運営	必要な資格を有する経験豊富な人材により管理運営を実施し、適切な業務運営を実施している。 共同企業体各社が役割分担を明確にし、各業務に選任責任者を配置することで、連携を密にして、きめ細かい維持管理を実施した。 顧客満足度向上のため、接客研修や防災訓練、AED講習会のほか、人権研修を実施し、スタッフの能力向上に努めた。	職員の配置、緊急時の連絡体制の整備は、仕様書及び事業計画書に沿って適切になされており、利用者の立場に立った丁寧な対応を行っている。 また、各種研修の実施等により、利用者サービスの向上や利用者の安全確保体制の強化を図っている。
	○収支の適正	照明器具のLED化による節電対策を実施するなど、経費節減及び収支の適正化に努めた。また、利用料金の改定に伴い、利用料金収入が増加した。	燃料価格高騰及び物価等高騰の影響下においても、収支の改善に向け、適切な対応に努めている。
総括		照明器具のLED化等、経費削減に取り組むとともに、スポーツ教室などの自主事業を積極的に実施し、施設の利用促進に努めた。	地域連携イベントやスポーツ教室等の自主事業に積極的に取り組むとともに、ホームページやSNSを活用した情報発信を行い利用促進を図っている。 また、資格取得や講習等でスタッフの能力を高め、サービス向上に努めている。 目標達成に向けて、引き続き利用促進に向けた取組が必要である。

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和8年度)	<p>目標達成に向けて、引き続き、自主事業を積極的に実施するなど、施設の利用促進に努めるとともに、安全・安心な施設を目指すため、監視カメラの設置やミスト扇風機の導入など熱中症対策や設備の更新、不具合箇所発生時の修繕を迅速に行う。</p>	<p>利用者が安全・安心にスポーツ等を実施できる環境を整えることにより、引き続き稼働率維持に努める。</p>
中期的な対応	<p>経年劣化が著しい施設、設備の修繕計画の提案、協議を行うとともに、利用者が安全・安心にスポーツ等が実施できる環境作りを進めていく。</p>	<p>施設の保全並びに機能維持と利用者の安全確保に加え、施設の長寿命化を図るため、利用者のニーズや安全性等による優先度に応じて計画的に施設設備の改修を行う。</p>